

2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 5月 2日

所属・職名	人間社会学部・教授	氏名	吉田正人
研究課題	簿記・会計の研究（社会福祉法人簿記とマネジメント等、非営利会計との比較検討）		
研究キーワード	非営利組織 社会福祉法人	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>商業簿記における複式簿記の仕組みから財務諸表（貸借対照表・損益計算書）によって利害関係者に報告が行われる一巡の流れは、基本的に非営利の組織でも同様となっている。しかし、資金収支計算書、事業活動計算書のように非営利特有の計算書類があるように非営利組織の共時的会計基準を実現化するために基調となる簿記・会計の仕組みから研究を行うことを目的とした。その結果、社会福祉法人の計算書類の1つ資金収支計算書が特徴的な計算構造となっており、そのことから共時的会計基準の実現にはまずモデル会計基準開発アプローチにより目指していくことがリアリスティックであることが指摘できる。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>単著「社会福祉会計簿記における資金収支計算書主体の計算構造と会計基準省令の展望」『千葉商大論叢』第57巻第1号、2019年7月、53-68頁。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>書籍の購入。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p>			
（本文は1ページ以内にまとめること）			